

第33回 市長と話そう会

- ・日 時 令和6年4月4日(木)
14:30~15:30
- ・場 所 市役所3階会議室
- ・出席者 市内中学校 新2・3年生 12名

市民の皆さんと市長が直接語り合う「市長と話そう会」第33回目は市内中学校に通う新2年生、新3年生12名の皆さんと意見交換を行い、市の好きなおところや自分たちの将来、まちの未来について意見を交わしました。以下抜粋して掲載します。

◆自己紹介(市の好きなおところ)

- ・武雄市図書館が好き。飲み物を飲みながら本を読める雰囲気がよい。
- ・祭りや行事が好き。先日開催された春祭りも楽しむことができた。
- ・教育に力を入れているところが好き。タブレットを活用した授業など効率が良いと感じる。
- ・道の駅山内が好き。地元の魅力をたくさん知ることができ、野菜もおいしい。
- ・新しくできたケーブルワンスポーツパークが好き。他市の体育館には無い良さがある。
- ・ゆめタウン武雄が好き。友達と楽しく過ごすことができる。
- ・武雄の自然や焼物、温泉が好き。武雄ならではの魅力だと思う。

◆意見交換

(市長)

・市では西九州新幹線が開業し、今後は文化会館も新しくなる等、大きな変化が訪れているが、私は武雄市をもっと住みやすいまちにしたいと思っている。武雄市がもっと住みやすく魅力的なまちになるために、皆さんの意見を聞かせていただきたい。

(参加者)

・ハウステンボスのような商業施設があればよいと思う。今は高齢者が増えているので、高齢者も楽しめる(花を見るなどの)商業施設があれば、多くの人を訪れると思う。

(市長)

・地域の高齢者が全体の30%以上となる中、高齢者が楽しめる場所という着眼点は大事。例えば御船山楽園などは、花を見るために県外や海外からも人がやってくる。今武雄にあるものをどう活かすかが大事だと考える。

(参加者)

・武雄温泉駅に多くの人々が来ているため、湯布院のような食べ歩きスポットを駅の近くに作ってほしい。

(市長)

・これまで、駅から少し離れた武雄温泉街の人通りが少なく寂しいと言われていたが、最近では、新しいお店が少しずつ増え、賑わいも少しずつ生まれつつある。

(参加者)

・市外の人から、何度でも行きたいと思ってもらえる武雄市になってほしい。

(市長)

・何度も訪れてもらうためには、観光地の魅力だけでなく、この人に会いたい、これを食べたいなどの動機をもってもらうことが大事。例えば、武雄温泉駅での観光案内を、高校生の英語ボランティアに協力してもらうことで、高校生が学びながら、旅行客が地域の人と接点を持つことができる仕掛けなど。

(参加者)

・自分が住む川登地区を発展させてほしい。

(市長)

・武雄市は9町で様々な特徴があり、それぞれの町の強みを伸ばしていきたいと考える。川登地区は、武雄町もそうだが、嬉野市にも近い地理や、西九州道などの交通の利便性もある。そこで、川登地区には工業団地を整備し企業を誘致することで、地域に仕事を増やし、人を呼び込むことで地域を活性化したい。

(市長)

・武雄市に武雄アジア大学が設置される構想があるが、中学生の皆さんはどのように感じるか。

(参加者)

・なりたい職業があり、大学進学を考えていないが、武雄市に大学ができることで、賑やかになることは良いと思う。

(参加者)

・法学部に興味があるが、武雄アジア大学には1学部しかないため、幅広い選択ができないと感じた。

(参加者)

・大学ができることで、武雄市の知名度が上がることは良いと思う。地域を学ぶ大学というところに少し興味を持った。

(市長)

・本日、皆さんからいただいた貴重な意見を、今後の様々な計画策定や事業実施などの参考にさせていただきたい。